

がんばる
皆さんを応援!

Take ヘアサロン& リラクゼーション

タケ ヘアサロン&リラクゼーションは高い理容技術で調髪するだけでなく、安らぎ・癒しを提供するリラクゼーションも充実しています。富山市大泉で40年以上営業を続ける、創業者の竹部健次さんと、長男で2代目の将光さんにお話を伺いました。

① 店の奥を半個室に

オープンは1976年でした。健次さんは富山県理容美容専門学校で学び、修業を経て店を構えました。将光さんは物心ついたころから「父の仕事を継ぐ」と思っていたそうで、地元の高校を出てから同専門学校へ進み、他店で5年弱修業して25歳で店に入りました。将光さんと2000年に結婚した誉子さんも理容師で、現在、スタッフも含め4人で店を営んでいます。創業40年の2016年にはオリジナルTシャツを制作、将光さんの思いを込めたロゴマークも作りました。

平成29年度には富山商工会議所の支援を受け、国の「小規模事業者



▲創業40周年を記念して2016年に作ったお店のロゴ



▲半個室にすることでリラックスした雰囲気を保ちます。将光さんの妻の誉子さん(上)とスタッフの大岡由奈さん(下)。

持続化補助金」を受けて店を改装し、店の奥をカーテンで仕切って半個室にしました。顔剃り、ヘッドスパ、薄毛予防・育毛コースなどをお客様がリラックスして受けられるための配慮です。また、30年度も同補助金を受けて店の改装を行い、利用者サービスの向上に努めています。

② メンタルヘルスに貢献

2010年、全国で初めて理容師・美容師が心の健康について医師らから学ぶ講習会を開催、修了者には「メンタルヘルスサポート協力店」のステッカーが贈られました。富山市でこの仕組みを考える中心的な役割を果たしたのが健次さん。当時、内閣府の自殺予防に関わる担当者が視察に訪れ、全国にこの取り組みが広がったのです。

「お客様は、心身ともにリラックスすると、いろんな話をされます。毎月会って、じっくり1時間以上も話す友人なんてなかなかいません。そういう人間関係は、理容・美容業ならではの私たちは、いろんな話を受け止めます」体に触れるから、信頼関係ができて

す。「父親が何十年と通いつけているから、どんな店かと思ひまして…」と常連客の娘さんが訪ねて来られたこともあったそうです。将光さんも、コミュニケーション術がいつの間にか身についてきたと話します。

「人の話を聞く力って、教えたり教えられるだけでない何かがあるように思います。寝付きの悪い人が、うちの店で居眠りしてしまったことがありました。そういうことも嬉しいですね」髪に気を配ることは、生活の張りにつながる。逆に、そういうことに気が回らなくなっている人は、何か心に悩みを抱えていたり、認知症などの傾向が出ていたりするかもしれないのです。竹部さん親子は、異変を見つけて家族に知らせるなどの役割も担っています。

③ コンテストに挑戦

将光さんは、20代のころから毎年、コンテストへの挑戦を続けてきました。2005年にはOMCアジア大会で金メダルを獲得しています。「技を磨くことで、お客様に喜んでもらう」という信念からです。

健次さんは富山県理容生活衛生同業組合の理事長を勤め、富山県理容美容専門学校の校長でもあります。将光さんは、親子の役割には違いがあると言います。

「20代のタイミングで店長が代替わりしたわけではないのです。父が外で頑張っている分、自分は腕を磨き、

店を守ってきた。このバランスがいいのです」

事業承継が円滑なのは、一つの店に店長が2人いないから。それぞれに責任を持ち、違う道を歩きながら10年ほどかけて代替わりをしてきたといいます。

④ 50周年へ一丸で

開店50周年に向けて健次さんは「愛され続けたい。後進の育成を図りたい」と話します。将光さんは「皆さんに喜んでもらえるよう、コミュニケーションの場となって人のつながりをつくっていききたい。豊かなライフスタイルを演出したい」とのこと。

「Take ヘアサロン&リラクゼーション」を当所はこれからも応援していきます!



▲店内の内壁やカウンターには竹が使われています。

Take ヘアサロン& リラクゼーション



富山市大泉東町2-5-4
営業時間：9:00~19:00
定休日 毎週月曜、第1火曜、第3日曜
☎076-422-2180
URL <http://take-r.shop/>
<http://www.dhk-toyama.com/take>